

# 利賀っ子だより



R3. 10. 18

～ 学習発表会に向けて その3～

## ○ セレモニー練習



いよいよ今週末に学習発表会を控え、その準備や練習も大詰めを迎えています。

中学生と一緒にオープニング、エンディングの各セレモニーの練習も行っています。この時間は、中学生の実行委員が中心になって進めています。挨拶や移動のタイミング等について、どうすればみんながそろるか意見を出し合い、試しながら、よりよい方法をさぐっていました。

この練習に入る前、小学校の実行委員の6年生が、小学生全員に、「前回の練習で『礼』のタイミング合わなかった

ので、各教室で毎時間の授業の始まりと終わりの挨拶のときにも『礼』のタイミングに気を付けてほしい」と声をかけました。まさに、学習したことを発表する場としての「学習発表会」であることを意識づける言葉かけでした。

## ○ 成長につながる振り返り

全校での合奏の練習した際、その様子を動画で撮影し、いつでも見ることができるようにしておく指導者から子供たちに説明がありました。

早速、その日の昼の休み時間に動画を見て、自分たちの演奏を確認している高学年の子供たちの姿がありました。

「このところ、速くなっている。」「細かいリズムだから速くなったと思う。」「自信のないところは、他の（パート）の音を聴く余裕がないからかも。」「どのパートが目立つ場所なのか分からない。」「まだ、自分のパートで精一杯ってことかな。」「パート練習がいろいろあるってことか。」など、巻き戻したり、早送りしたりしながら、自分たちの演奏を確認していました。

うまくできた、できなかったと反省するだけでなく、どうしてそうなるのか、どうすれば改善できるのかまで考えていくことが、次の成長を生むこととなります。指導者から、「もっと～するように」「ここを～のように演奏しよう」と指示するのではなく、子供たち自身に「こうしたい」と思わせる振り返りの仕掛けがあったからだと思いました。

これまで学習してきたことや成長したことを伝えられるよう、学習発表会当日まで、子供たち、そして、教職員は、努力を続けていくことと思います。

(高田 公美)

